

再生療法の今を語る！

歯周治療において初期治療からメンテナンスまでの基本治療が最も重要であることは間違いありません。また 3次元での診査・診断ができるようになったことで、再生療法や骨造成手技もより確実な治療となりました。今回「再生療法の今を語る！」と題し、歯周治療のスペシャリストをお招きして、スーパーペリオ / 歯周治療の基本・最新再生療法・インプラント治療について 4名の先生方にご講演いただきます。是非、ご参加ください。



多様な骨欠損形態における歯周組織再生療法の可能性

北島 一先生 静岡県磐田市開業 / 日本臨床歯周病学会認定医 / 5-D Japan ファウンダー

歯周病に起因する骨欠損は骨縁下欠損（垂直性骨欠損）、骨縁上欠損（水平性骨欠損）、根分岐部病変に大別される。歯周組織再生療法が最も効果を示すのは骨縁下欠損であるが、欠損の角度が広がるほど、また欠損の深さが浅くなるほど予知性は低くなり、水平性骨吸収は再生療法の適応とは見なされていない。しかし臨床においては様々な複合的な骨欠損形態が存在し、一見困難と思われる骨欠損でも良好な反応が得られることを数多く経験している。よって再生の可能性を見誤ることなく歯の保存へとつなげるため、欠損形態を見極めるという点に焦点を当て、術前診断のポイントとそれぞれの骨欠損形態に適用される臨床のテクニックについて解説したい。



そこまでやるか？ -Perio はしつこさが命-

白石 和仁先生 福岡県北九州市開業 / 日本歯周病学会認定歯周病専門医 / 日本顎咬合学会指導医 / 日本臨床歯周病学会認定医 / 福岡歯科大学歯周病分野臨床准教授

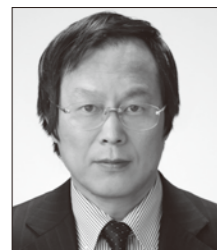
演者の臨床には「抜歯か？保存か？の判断基準」など無いに等しい。われわれ歯科医師の仕事とは、たとえ残せる可能性が数%であったとしても、その歯の保存に一度は全精力を注ぎ込まなくてはならないからである。狭い日本の中であっても地域性によって異なる医療をグローバルスタンダードなる名の元に地域性・人種・民族性・医療制度・手先の器用さも違う欧米の考えをそのまま日本に持ち込んでも無理はないだろうか？臨床には「Evidence に縛られない Challenge」も必要である。それ無くして術者側の技術の進歩と向上は成しえないからだ。今回はその Challenging Case を長期経過症例を交えながら提示することにした。



歯周基本治療から再生療法の効果を考える

長谷川 嘉昭先生 東京都中央区開業 / 日本歯周病学会専門医 / 日本臨床歯周病学会指導医 / 日本歯周病学会評議員 / 日本臨床歯周病学会インプラント指導医 / 東京医科歯科大学歯周病分野非常勤講師

骨再生や骨造成が確実に出来る時代になっても、やはりペリオの王道は歯周基本治療の実践に他ならない。私の考えは、「歯周基本治療あつての再生療法」であり、「再生療法のための歯周基本治療」ではない。歯周病患者の8割方は、歯周基本治療のみで治癒するが、やはり歯周外科処置の有効性もきちんと理解する必要がある。特に再生療法については、歯周基本治療を戦略的に行うことで、より明確な効果が期待でき、予測性が立てられるようになった。本講演では、その詳細を解説してみたい。



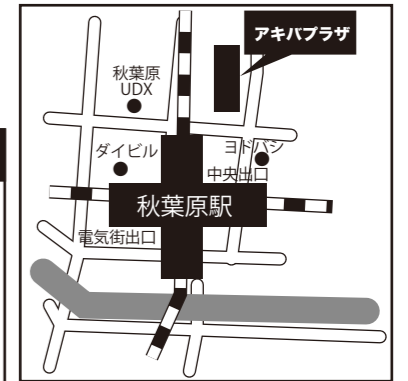
How Do You Treat These Severe Situations?

水上 哲也先生 福岡県福津市開業 / OJ 会長 / 日本歯周病学会指導医 / 近未来オステオインプラント学会指導医 / 日本顎咬合学会指導医 / 九州大学歯学部臨床教授

再生療法の発達普及により進行した歯周病の歯が数多く延命保存されてきています。また、同時に再生療法に携わる先生方の臨床レベルもめざましく向上しています。しかしながら現実の臨床では対応に戸惑うような重度に進行したケースや、歯周治療、インプラント治療においてリカバリーの困難な状況に少なからず遭遇し私達を悩ませています。そこで今回の講演ではこれらの対応の困難な症例に対する処置法をまとめ、臨床例をもとに解説させていただきたいと思えます。

50音順に掲載

- 日 時 **2015年11月3日(火・祝) AM10:00~PM4:30**
- 会 場 **富士ソフトアキバプラザ** (JR 秋葉原駅 中央改札口 徒歩 2 分) 東京都千代田区神田練堀町 3
- 定 員 **150名**
- 参加費 **FAX申込/ 10,000円 ヨシダホームページ申込/ 9,000円** (いずれも昼食代・消費税込)
- 振込先 **みずほ銀行 本所支店 普通: 1790109 株式会社ヨシダ**
※お振込手数料はお客様負担をお願い申し上げます。
 ※お振込用紙をもって領収書にかえさせていただきます。



ファックスでのお申し込み方法

- **申込方法** 下記申込用紙にご記入のうえ (株) ヨシダ インプラント部 (担当 / 遠藤) まで FAX にてお申込ください。口座への入金確認をもって受付とさせていただきます。
- **申 込 先** **株式会社ヨシダ インプラント部(担当/遠藤)**
TEL: 03-3845-2931 FAX: 03-3841-8204

ホームページでのお申し込み方法

- **ホームページなら簡単に申し込みでき、参加費も10%OFF!**

<http://www.yoshida-dental.co.jp>



スマホからも、QRコードからお申し込みいただけます。

主催: 株式会社 **ヨシダ**

協賛: 一般財団法人 **小貫基金**

再生療法の今を語る！ 申込書 [2015年11月3日]

●ご芳名 ●貴医院名

●メールアドレス 開業医 勤務医

●ご住所 ●お取引ディーラー様名

TEL () FAX ()

●ご質問事項はございましたら、ご自由にご記入ください。講演終了後に講師よりご回答いたします。

ご提供いただいた情報は、目的以外の用途に使用いたしません。また漏洩のないよう取り扱いに厳重に注意いたします。

ヨシダホームページからも 簡単にお申し込みいただけます！ → <http://www.yoshida-dental.co.jp>